

# プラスチックごみから海を守る

上田染谷丘高等学校 1年 近藤 翌檜

# テーマ設定の理由

- ・ ニュースで海に流されたプラスチックごみについてやっているのを見て、興味が湧いたから。
- ・ 海に行ったとき、海岸にゴミが打ち上げられているのを見てなんとか減らしたいと思ったから。



# 現状

毎年**800万トン**以上ものプラスチックが河川などを流れ、海に流出している



このままだと

2050年までに海のプラスチック量が魚の数を上回ってしまう



# 課題

世界でプラスチックの生産量が増え続けている

⇒ 50年で**20倍**以上



プラスチックは生ゴミなどとは違い、自然に分解されないため、数百年も消えずに残る  
マイクロプラスチック(5ミリ以下のプラスチック)が魚の体内から見つかっている、そしてその魚を人間が食べている

つまり... 自分の体の中にもプラスチックが知らないうちに蓄積されていく  
危険性がある

# 解決策

- ・ ポイ捨てをしない
- ・ 3R（リデュース・リユース・リサイクル） を 心  
がけ再利用していく
- ・ マイバッグを持参する

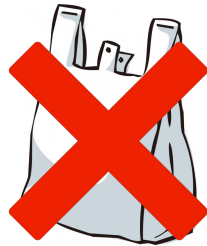


# 10代からの提言

プラスチックごみを減らしていくために、まず大前提としてポイ捨てをしない。そして、もし買い物に行ったときはビニール袋を買うのではなくしっかりマイバッグを持参していくべき。また、ビニール袋の値段をあげれば買うのを躊躇するためプラスチックごみが減らせるのではないかと思った。

# 感想

プラスチックごみの問題を調べていく中で、身近なことでプラスチックごみを減らすには何をすべきかなど深く考えられた。今後もマイバッグを活用したりしてプラスチックごみを減らす努力をしていきたい。



# 引用

[https://www.egmkt.co.jp/column/consumer/20210730\\_EG\\_129.html](https://www.egmkt.co.jp/column/consumer/20210730_EG_129.html)

<https://spaceshipearth.jp/plastics/>